

地域における自殺予防の環境づくり事業 啓発セミナー

と き 11月27日(土)
13時～16時
ところ 市民文化会館 中ホール
内容

基調講演

演題 「うつ病の発見と
自殺の予防について」
講師 大野 裕 氏
慶応義塾大学保健管理センター教授

シンポジウム

テーマ 「地域における
自殺予防対策の推進」
コーディネーター
佐々木 久長 氏
秋田大学医学部保健学科助教授

定員 400人

締め切り 11月15日(月)

申問 北秋田地域振興局大館福祉環境部
☎52 3952

自殺を予防しよう！

平成7年以来、秋田県では、自殺率が全国ワースト・ワンという不名誉な記録が続いています。

このことは、個人の問題としてとらえるのではなく、社会全体の問題として位置付け、みんなで考えなければなりません。

そこで、県と市では、次のとおり講演会を開催しますので、多くの皆さんの参加をお願いします。

「こころの健康教室」

と き 11月19日(金)
13時30分～15時
ところ 中央公民館視聴覚ホール
内容

講演会

演題 「自らの命を大切に」
——自殺予防——
講師 平野 敬之 医師
市立総合病院神経精神科部長

定員 200人

締め切り 11月15日(月)

申問 保健センター ☎42 9055

保健センターの

健康相談

お近くの会場へ

保健師が、個別に健康への悩みや相談に応じています。血圧測定も行いますので、お気軽にお越しください。持ち物・健康手帳をお持ちでないかたには差し上げます。費用は無料です。

☎保健センター
42 9055

11月の健康相談

と き	会 場
10日(水)	保健センター
15日(月)	矢立公民館
22日(月)	下川沿公民館

時間は10時～11時30分です。

風しんの定期予防接種対象者

今年に入ってから、国内の一部地域で風しんが流行しています。風しんは、幼児や学童を中心とする感染症ですが、大人でも感染し重症化することがあります。また妊娠初期にかかると、先天性風しん症候群(心奇形、白内障、聴力障害など)の子供が生まれる可能性が高くなります。そのため、10歳代後半から40歳代の妊娠する可能性の高いかたや現在妊娠しているかたの同居家族は、予防接種を受けることが大切です。現在妊娠中のかたは、出産後早い時期に主治医と相談してください(過去に風しんにかかったかたや予防接種を受けたかた、風しんの抗体価検査で陽性の確認のあるかたは除かれます)。

料金は医療機関にお尋ねください。

☎保健センター ☎42 9055

接種料金
生後12か月以上90か月未満のかた …… 無料
生後90か月以上のかた …… 自己負担

(生後12か月以上90か月未満のかた)は早めに(生後18か月までには)予防接種を受けましょう。予防接種をご希望のかたは、各医療機関に風しん予防接種を実施しているか確認のうえ、予約してください。

女性の場合は、胎児への感染予防のため、妊娠していないことを確かめてから接種してください。また、ワクチン接種後最低2か月間は妊娠しないようにしてください。

風しんの 予防接種を受けましょう

